

Nursing

チームケア時代を拓く
看護マネジメント力UPマガジン

BUSINESS

トリプル改定後の現場の課題をフォローし、
管理者として先々の視点を踏まえたマネジメントができる！



人材の多様化、生涯学習、キャリア形成など、
看護師の新しい働き方・生き方を支える
マネジメント力が身につきます！

第1 特集

読んで即実践につながる
情報・ノウハウを提供！

- 入退院支援 ●地域との連携
- 人材育成 など

第2 特集

話題のトピックスを
いち早くお届け！

- 災害支援 ●カスハラ対策
- 認知症ケア など



最新情報を公開中！
バックナンバー・増刊情報も！

※表紙掲載内容は変更する場合があります。

本誌[A4変型判/月刊] 定価2,200円(本体+税10%) 増刊[B5判/年3冊刊行] 定価3,080円(本体+税10%)

“多様な価値観を受け入れ、新しいマネジメントを創造する”をコンセプトに、
未来に向けたよりよい看護の実現に結びつく知識をキャッチアップ、現場密着の問題解決を目指した構成です。
看護師長と看護部長などの看護管理職者が目指すべきマネジメントのかたちを共有し、
前進するための情報源として、ぜひご活用ください！

すべての
医療従事者を
応援します

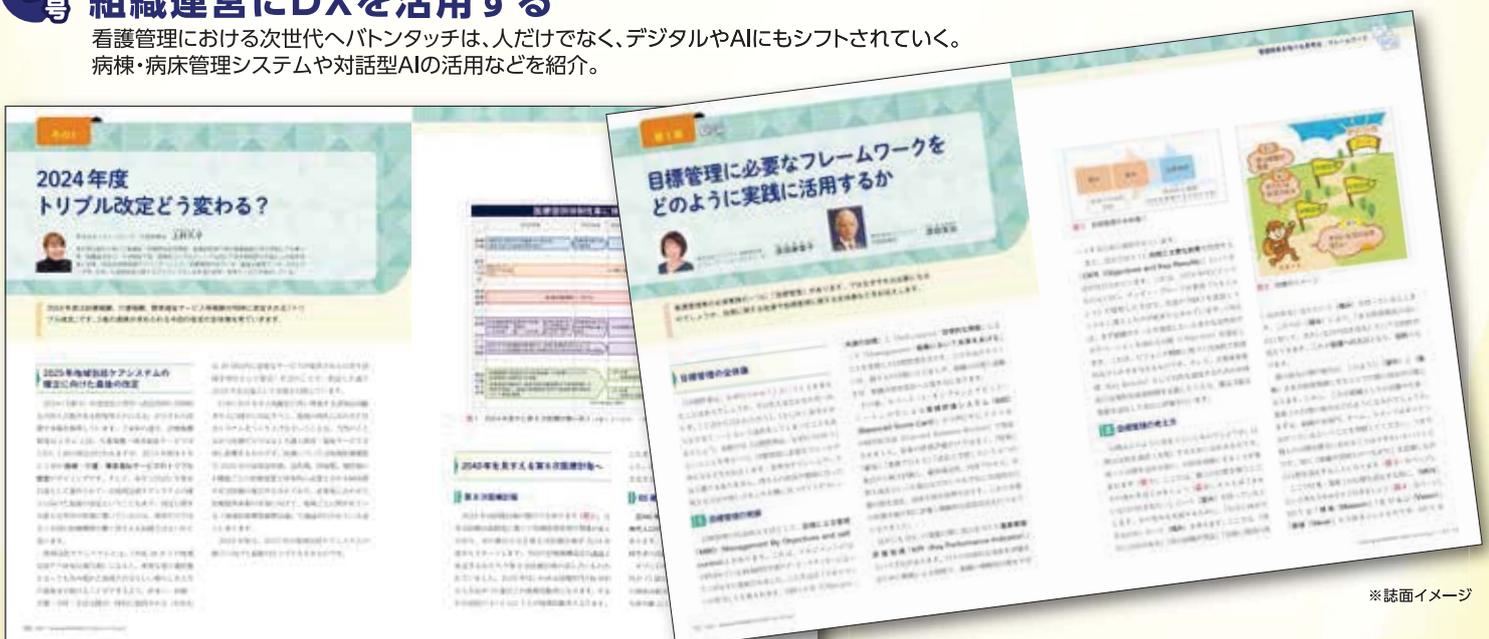


MC メディカ出版

読んで即実践につながる情報・ノウハウを提供。
病院の機能分化が進むなかでますます重要度を増す入退院支援や地域との連携に加え、
目標管理や多様化するスタッフ教育など人材育成に関連したテーマも充実!

●2025年 テーマ予定

- 1号** 管理職の“はじめての一步”
マネジメント視点で身につく主任育成術
管理職の入り口ともいえる「主任」育成にあたり、マネジメント視点を養うことは必須課題。
主任を目指す“若手リーダー”の時期からマネジメント視点を学ぶ必要性、実際の教育事例などを紹介。
- 2号** 評価の仕方・伝え方に自信がつく
人事考課・ラダー評価の基準と手順
看護管理者にとって人事考課は必須業務であり、正しく“評価”する能力が求められる。人事考課の基本と進め方のポイントを解説。
- 3号** 病棟活性化計画!
看護師長が知っておきたい職場の「ゆとり」の作りかた
日々の仕事に加え、子育てや介護などマルチタスクをこなす管理者、スタッフは多い。
業務改善やタスクシフト、DX活用などの視点から、職場の「ゆとり」の作りかた、組織の活性化戦略について考察。
- 4号** イマドキの若者解体新書
新人を看護にコミットさせるワザ5
新人が看護にやりがいを感じるためにはどうすればよいか。若者の特徴を踏まえた現場のマネジメント事例を紹介。
- 5号** 働き方が変わる! ケアが変わる!
看護提供方式、見直してみませんか
多様な働き方、看護の質向上のために看護提供方式を変えた施設のビフォー・アフターを紹介。
- 6号** 診療報酬改定で何が変わった?
身体的拘束最小化のためにできること
トリプル改定では身体的拘束の減算範囲に制限がなくなった。拘束回避のためにできること、拘束の判断基準のヒントなどを解説。
- 7号** プレイングマネジャーからの脱却!
看護管理者が身につけたい「任せる」スキル
つい仕事を抱えがちな看護管理者に向けて、仕事を手放す力、権限委譲のスキルを解説。
- 9号** 「管理」ができるのは「人」だけ?
組織運営にDXを活用する
看護管理における次世代へバトンタッチは、人だけでなく、デジタルやAIにもシフトされていく。
病棟・病床管理システムや対話型AIの活用などを紹介。



※誌面イメージ

いま必要なテーマや話題のトピックス・知りたいことの概要が一読してわかります。
マネジメントカアップのヒントが満載!

●2025年 テーマ予定

1号

スタッフのモチベーションを高める 看護管理者が身につけたい「承認力」

スタッフのモチベーションアップには管理者の「承認」が大きく影響する。
看護管理者が身につけたい承認力について、世代別にコーチングスキルを交えて解説。

2号

地域ネットワークをどう活かすか 災害時における「支援」「受援」のしくみづくり

新興感染症や自然災害時の地域における「支援」「受援」体制のしくみづくりを紹介。

3号

目指せスリム化! 生産性を上げる院内会議デザイン術

院内で行われるさまざまな会議。効率のかつ生産性が上がる会議運営のポイントやテクニックを紹介。

4号

理不尽”で片づけない 看護管理者が知っておきたいカスハラ対策

患者、家族のカスハラ(ペイハラ)の実態と法的解説、管理者が知っておきたい対応策を紹介。

5号

自ら考え、実行する力を身につける 自走型組織の作り方

VUCAの時代、スタッフ個々が自身で考え実践していく組織づくりが求められている。
学習する組織のつくりかた、心理的安全性の構築などについて解説。

6号

多職種で取り組む! 認知症ケア 最前線

トリプル改定では認知症ケア加算のベースアップが図られた。抑制対策含めて、最新の認知症ケアとマネジメントのポイントを解説。

7号

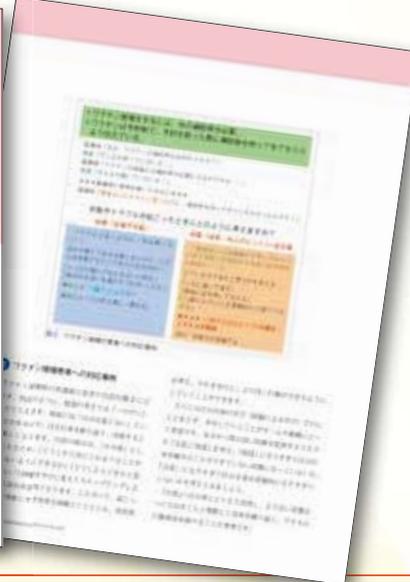
離職を防ぐ・やりがいを生み出す 看護補助者の採用・定着・支援の取り組み

トリプル改定では看護補助体制充実加算の見直しが図られた。研修制度を中心に取り組みを紹介。

10号

数字、データが共通言語! 医事課との「技あり」連携事例集

必要度評価や看護部データの抽出など、経営効果や看護の質向上が図られた事例を紹介。



●新連載スタート！ [2025年1号～順次・予定]

管理の“魅力”はここにあり！

ミドルマネジャーのための 実践!マネジメント入門

VUCAの時代、看護現場のマネジメントはフレームワークに当てはめるだけではもはや不十分です。フレームワークなどの理論に加え、臨床現場での具体的な活用シーンを挙げ、管理の“魅力”を感じることができる実践的マネジメントについて解説します。

人材活用から“人財”活用へ

これからの「多様性」について考える

人材育成や病棟運営にも「多様性」に配慮したマネジメントが求められるようになりました。

「多様性」の概念について知り、具体的な事例とともに多様性への理解を深め、現場での活用について考えます。

ぴったりの1冊が必ず見つかる！

迷える看護管理者のための お悩みライブラリー

多忙な業務や複雑な人間関係で日々お悩みの看護管理者に向けた、癒しの1冊を紹介するコーナー。

読者からの各お悩みに合った本の紹介とともに、多くの研修参加者のお悩みに耳を傾けてきた筆者がマネジメントのヒントについてお伝えします。

●好評連載中！

人を動かす 心を動かす フレーズ&マインド

感情コントロールで「怒り」の連鎖を断つ！

看護管理者のための アンガーマネジメント入門

パーソナルトレーニング“アン活”のススメ

昨今の医療現場の変化に伴い、医療職全般、特に看護管理者は非常にストレスフルな状況にさらされています。「怒り」は不要なハラスメントを引き起こすほか、医療安全にも大きく影響します。怒りが引き起こされるメカニズム、アンガーマネジメントの基本、怒りを上手にコントロールしよりよいチームづくりにつながる“アン活”のポイントをお届けします。

※誌面イメージ



マネジメントスキルが活きる・スタッフ育成につなげる

看護管理者のためのカンファレンスガイド

医療現場では多くのカンファレンスが行われていますが、日々の多忙さからつい形式的なものに陥ってはいないでしょうか。本当に患者のためになるカンファレンスのあり方と現場の工夫、看護管理者の関わり方について事例を交えて解説します。

プロセスレコードで学ぶ

スタッフに寄り添う育成術

人材育成は、看護管理者の最大の悩み。成人学習のメソッドをもとに、ファシリテーション・コーチングなどのスキルを駆使した育成方法を解説します。

実践的判例よみこなし術

さまざまな判例を取り上げ、裁判所の判断ポイントや看護管理者が押さえておくべきポイントについて解説。

看護管理者が知っておきたいツボニュース

日々、多くの業務に目配りが必要な看護管理者に向けて、国の施策や看護界を取り巻く最新ニュースをお届けします。

あなたの1日、教えてください

全国の看護管理者の皆さんが、毎日どんな1日を送っているのかが垣間見られるコーナー。

春季

病棟マネジメントに役立つ 看護管理者が知っておきたい
「患者」と「スタッフ」を支える制度ガイドBOOK

「社会保険制度」「キャリア支援制度」「健康支援制度」を大きく取り上げ、各制度の目的や現場に必要な知識についてQ&Aで解説します。

夏季

必要データを収集し読み解く!
看護現場の課題解決データ 逆引き辞典

現場の課題を解決するにはどのようなデータが必要で、それをどう読み解けばよいか。悩んだらすぐ調べやすい逆引き方式で解説。

秋季

現場の課題をアップデート!
「臨床倫理」の教育・実践マニュアル

新型コロナウイルス、身体的拘束、ACPなどのキーワードをもとに「臨床倫理」の基礎と実践について解説。タスクシフト、DXなど、時代がアップデートすることで検討されるべき新しい倫理観についても紹介。

看護管理サポートサイト

すべて無料・会員登録不要

<https://kango.medica.co.jp/>

看護管理サポートサイト

検索



ここでしか見られない
限定コンテンツも満載!

お役立ち記事

講義動画

医療最新情報

セミナー情報

など続々配信中!

今すぐアクセス!



公式メールマガジン N-bizレター

毎月1回配信

ビジネス最新号のほか、新刊書籍、セミナー情報、医療・看護にまつわる最新ニュースなど、看護マネジメントに役立つ情報をピックアップしてお届けします。



登録の仕方

ご登録はこちらから



1

ログイン→
メルマガ購読・解除

2

「N-biz」

3

「購読する」
ボタンをクリック!

外来医療の機能分化と 今後求められる外来マネジメント



医療法人社団真養会法人本部 人材育成部長・看護介護統括局長 しおた みさよ 塩田美佐代

NTT 東日本伊豆病院看護部長、湘南医療大学保健医療学部看護学科准教授などを経て、2023年より現職。2010年千葉大学大学院看護学研究科修了（ケア施設看護システム管理学修士）。認定看護管理者。

少子高齢化をはじめとする社会の変化に伴い、医療現場ではさまざまな変革が求められています。外来医療の機能分化も進む中、その動きと強化の取り組みについて、中小規模病院に焦点をあてて説明します。

外来医療・外来看護の役割

患者の高齢化に伴い、外来医療では複数疾患や医療と介護の複合ニーズを有する患者が増えています。そのため外来医療の機能に応じて地域でどのような機能を発揮すべきか、その役割を明確にして、患者をはじめ広く人々にわかりやすく示し、「かかりつけ医」から「医療資源を重点的に活用する外来」へつないでいく機能分化・連携を、適切に進めていく必要があります。2022年には外来機能届け出報告が規定され、「医療資源を重点的に活用する外来」の明確化が進んでいます。

2024（令和6）年の診療報酬改定¹⁾では、外来診療の機能分化・強化として、「生活習慣病の増加等に対応する効果的・効率的な疾病管理及び重症化予防の取組」を推進することや、かかりつけ医と介護支援専門員との連携の強化、かかりつけ医の認知症対応力向上が示されました。医療施設の入院と退院の窓口である外来部門は、**医療・保健・福祉を統合した生活支援の**

役割を期待されており、**病院と在宅、病院と地域福祉との連携**を図り、支援を必要とする人々に**継続した看護を提供する重要な部門**です。そして、外来看護師は入院と在宅をつなぐ場で療養支援や意思決定支援など多様な役割を担っており、外来看護としての専門性の発揮が求められています。

本稿では、地域に密着した機能を持つ中小規模病院における外来看護のマネジメントに焦点を当てて述べていきます。

外来看護の特徴と役割

医療技術の進歩に伴い、高度な治療や侵襲性の高い手術や検査が外来で行えるようになり、外来での継続治療やその管理が必要となっています。また、在院日数の短縮化や生活習慣病患者に対する対策の強化が推進され、高齢者など自己管理能力が確立していない状態で退院する患者が増えていることから、外来に医療依存度の高い患者が増加しています。このような状況下で、個々の患者に応じた専門性の高い看護を提供す



ることが求められるようになっていきます。しかし、病棟とは異なり、外来では看護師が患者に関わる時間は極めて短いのが現状であり、患者が各自の生活の中で実行・継続できそうな方法や行動について、患者と検討する必要があるにもかかわらず、その時間を確保することはとても困難です。また、在宅での治療が継続できる方法を選択するのは患者であり、実施した看護の評価は次回受診時になることや、看護活動が一人ひとり離れたロケーションで提供されることが多いことから、看護実践の共有や成果が実感しにくい状況にもあります。

一方で、日本看護協会の調査²⁾では200床未満の病院では、「多様な外来患者に対応する必要がある(中略)看護職も多岐にわたる業務を臨機応変に担っており、診察前の患者からの聞き取りと医師との情報共有は小規模病院の方がより充実した対応ができています」と、中小病院だからできることが示されています。

外来看護師の役割は、地域で人々がその人らしく暮らし続けられるように支援することであり、「病状管理・異常の早期発見」「治療の継続を支援・重症化予防」「療養上の意思決定支援」が主な看護活動として挙げられます。

■ 病状管理・異常の早期発見

- ・生活全般を把握し、日頃の患者と比較することで、データ等身体所見に表れないわずかな変化、異常を兆候の段階で発見する
- ・自己管理能力に応じたセルフケアの方法を考える
- ・患者が症状のセルフモニタリングができる支援

■ 治療の継続を支援・重症化予防

- ・患者が健康管理を適切に行えるよう、生活行動(食事・栄養・身体活動・呼吸法)への直接介入
- ・患者や家族が治療を中断することなく参加し効果的な行動がとれるよう介入する

- ・医療処置管理行動(薬剤・器具・装具)への支援

■ 療養上の意思決定支援

- ・情報提供だけでなく、内容を理解できたかを確認し、必要に応じて説明を加える
- ・医師や看護師の提案や説明を理解し、治療に参加できるように支援する
- ・患者が自分の価値観や生活における希望と照らし合わせ、自分の気持ちを決定するプロセスを援助
- ・身体の構造・機能の変化や喪失に対して、患者がどのように感じているか知り、感情を受け止める
- また、「調整する力」「判断する力」「相談に応える力」「コミュニケーションを円滑にする力」は外来看護師に必要なスキルと考えられます。

■ 調整する力

- ・限られた時間内で、大勢の患者に対し、生活が円滑に送れるように支援する時間を調整したり、診療を円滑に受けることができるように、医師や多職種との間を調整する力

■ 判断する力

- ・患者の表情や言動から、重症度・緊急度・看護介入の必要性を判断したり、患者や家族の情報から、治療方針や今後起こりうることを予測し、継続看護の必要性を判断する力

■ 相談に応える力

- ・患者や家族のニーズを的確にとらえ、相談できる環境を整え応える力

■ コミュニケーションを円滑にする力

- ・患者や家族に関わる医療チームメンバーと情報を共有し、適切な対応策を検討したり、看護と医療の質の向上や継続性を高めるため、行った看護がわかるよう記録を行う力

SAMPLE

外来マネジメントの実際 —外来患者自立支援にむけて



社会医療法人蘇生厚生会 松波総合病院 看護本部長 **伊藤妙登美**

認定看護管理者。1981年岐阜県立岐阜衛生専門看護学校第一看護学科卒業後、岐阜県立岐阜病院入職。2005年社会医療法人蘇生厚生会松波総合病院入職。2014年看護師長、2017年副看護部長、2019年より現職。

『 昨今の社会情勢等の変化により、病院では在院日数の短縮や在宅への早期移行などが求められています。その結果、外来における在宅療養支援のニーズも生じています。そのニーズに対応する取り組みの実際をお伝えします。』

外来における在宅療養支援

社会医療法人蘇生厚生会 松波総合病院は、501床のケアミックス病棟と健康増進クリニック（以下、クリニック）を有しています。岐阜県と愛知県の県境に位置することから5市町村にわたる401の医療機関と連携しています。外来診療科数は、松波総合病院の外来（以下、当院外来）が連携医療機関からの紹介外来と14診療科、クリニックは8診療科で、外来患者数は2022年度が254,830人、1日平均患者数852人となっています。

当院外来およびクリニックでは、地域住民が安心して生活を送れるように継続看護の質向上を図ることを目指しています。看護部では「『地域で生きる生活者＝患者』を看護する」という目標を掲げ、日々看護実践を行っています。昨今の社会情勢の変化や診療報酬改定などに伴い、在院日数の短縮、在宅への早期移行などが求められ、外来での通院治療が増加していますが、その状況に対応すべく、外来通院患者や退院後の

患者の在宅療養支援が行えるよう継続した支援活動を行っています。その柱となっているのが「退院後初回受診時の看護介入」「各科の特徴を活かした療養支援介入」「各診療科におけるカンファレンスの実施」「継続看護記録の充実」の4つです。

また、地域介護連携室では地域住民の方々に適切な医療を提供するために、独自のシステム（FileMaker）を利用し、患者が連携医療機関に効率よく受診できるように取り組んでいます。

退院後初回受診時の看護介入

退院後初回受診患者への介入は、2019年度から前日・当日の看護師とクラークの役割を決め、**図1**のフローに沿って行っています。

2021年頃より介入件数が増加し50%以上となっていました。ただし、**図2**に示したように年度別に比較すると小児科と紹介の介入率は低くなっています。小児科の場合は入院期間が短期であることや疾患的な特徴から看護介入対象が少ないことが要因となってい

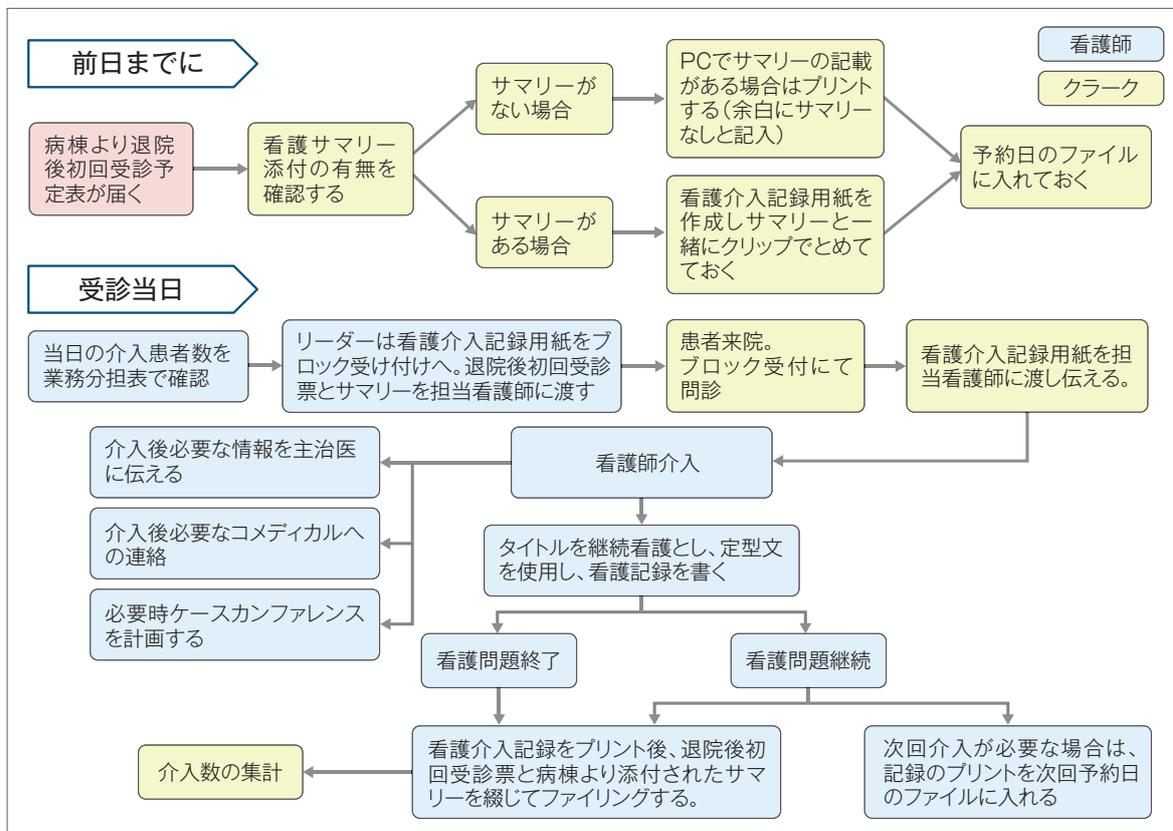


図1 退院後初回受診患者への介入フローチャート

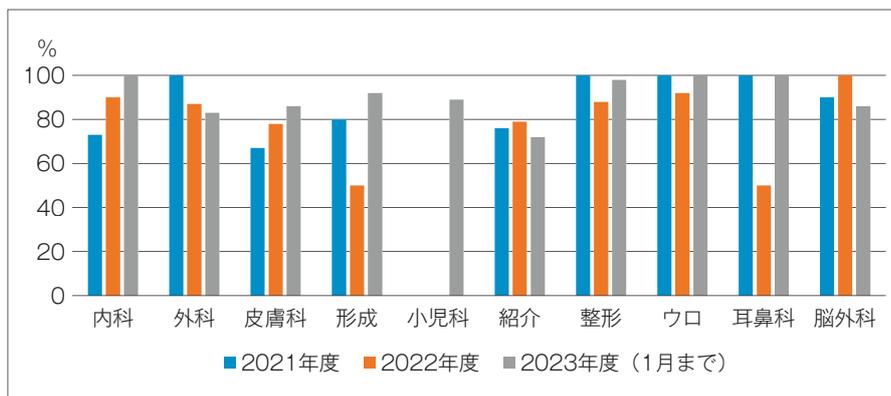


図2 退院後初回受診時の看護介入率

と考えます。紹介外来は、地域から当院への紹介患者を専門的に対応するという特徴があり、いずれは紹介元の病院に戻ることから、継続的な治療などの介入

件数は増加していないと考えます。

また、介入がとくに必要な患者（血糖測定やインスリン自己注射導入、がん患者化学療法後、がん患者疼



在宅支援を外来に移行するための業務改善（戦略）

社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院 看護部長 ^{まつむらともこ}松村智子

1996年社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院に入職。2003年看護課長、2017年副看護部長を経て、2023年より現職。院内のSCU開設ほか、院内RRS予期せぬ急変プロジェクト、患者支援センター事業等を実践。

地域包括ケア推進のため、外来の担う役割も変わってきています。看護職の役割明確化をはじめ、看護部で行った業務改善とその取り組みの実際を紹介します。

求められる外来機能

社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院（以下、当院）は滋賀県南部の三次救急指定病院、地域医療支援病院として「ゆりかごから介護まで」をスローガンに、「急性期医療」「がん治療」「医療介護連携」「予防医療」の4本柱を包括的に推進しています。急性期機能を維持しつつ、新たな事業に取り組む病院の方針に積極的に参画しながら、安全と安心を第一に、効果的・効率的で質の高い部署運営を目指してチーム医療を実践しています（表1、図1）。

多様化・高度化する外来機能への対応

厚生労働省は、第8次医療計画等に関する検討会において、外来医療の今後のあり方を報告しています。高度急性期医療を提供する当院では、在院日数の短縮化により従来入院で行っていた医療が在宅医療へと移行し、外来が担う機能は多様化かつ高度化してきています。医療人材の減少等の課題に当院も直面し、外来

表1 病院概要

社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院	
病床数	393床（感染症病床6床、ICU8床、SCU12床を含む）
診療科数	34
職員数	1,146人（看護職約560人、医師約150人）

の変革が必要であると考えています。

外来看護師に求められること

従来入院中に行っていた退院支援は在院日数の短縮により困難を極め、現在では外来から地域へつなぐ支援が必要となってきました。健康寿命の延伸を目標に、予防医療の視点を持ち、早期治療、重症化予防、再発予防に向けた支援システムの構築と、外来看護師には高い専門的知識とコミュニケーション力、意識決定支援能力が求められています。

当院では34診療科に看護師中心にスタッフが配置されています。外来看護師66人のうち40人程度の看護師（非常勤含む）と診療助手10人が、主に診察

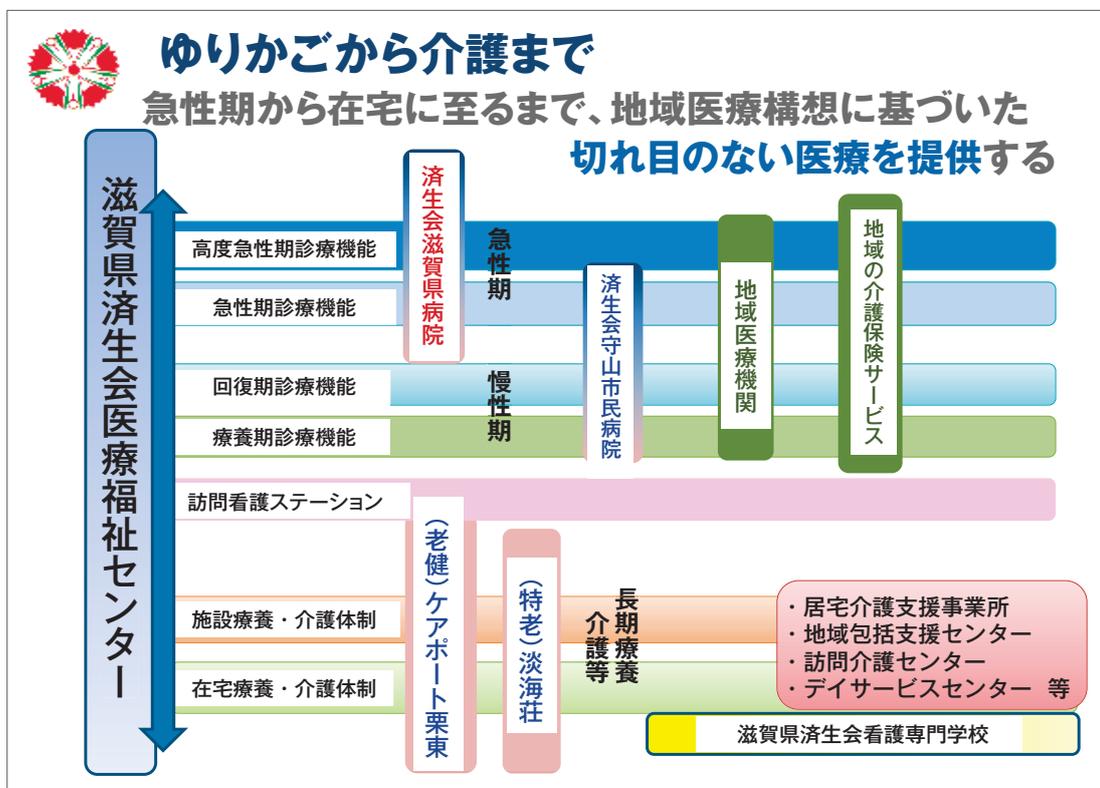


図1 滋賀県済生会医療福祉センター

がスムーズに流れるための支援を中心とした外来業務を担っています。外来機能を維持するには、長く診察介助についてきた看護師の意識改革を行い、看護専門職としての役割発揮が何なのか、組織で考え適正配置することが急務となっています。看護部では2018年から患者支援センターの業務改善を通し、在宅支援を強化することに取り組み、2022年には外来での在宅支援の体制が構築できました(図2・次ページ)。さらに2023年度からは、外来治療部門の変革も開始しています。看護職の人材確保が困難な中、外来治療の機能を維持できる人材確保について、病棟との人材交流による業務改善を進めています。

在宅支援を外来で行うための人員配置

患者支援センターの業務改善

筆者は副看護部長であった2018年に患者支援センターの事業改善を命じられました。院長からイノベーターとしての任命を受け、地域連携課、社会福祉事業課、看護部と多職種からなる患者支援センターでの業務を、各職種で協働できるようにしました。入院前のアナムネーゼ聴取、入院中の退院支援、退院後の外来支援と大きく3つに分かれている業務を、ソーシャルワーカーと看護師のペアで診療科別の担当制としました。

SAMPLE

学び続けたいあなたのための

年間購読

看護管理に必要な情報を
毎号充実のボリュームでお届け！
基本の振り返り&
知識のアップデートができる！

専門誌バックナンバー記事閲覧サービス
「年間購読ヨメディカ付プラン」なら
たった本誌2冊分の追加料金で160冊以上*の
記事が、契約期間中**オンライン**で読み放題！

お得な年間購読セット
料金がうれしい！
さらに**送料無料**！

*2010年以降のバックナンバー記事で、増刊・別冊は含まれません。

年間購読料金表 [一括前払い制] 消費税10%(税込)

●下記「年間購読料金」はメディカ出版または取扱書店でのお申し込みの場合に限りです。

ナーシングビジネス	本誌・増刊+ヨメディカ付プラン	本誌・増刊プラン
	38,060円	33,660円

本誌2冊分の料金
4,400円プラスで

160冊

以上のバックナンバー記事が
オンラインで読み放題！

専門誌バックナンバー記事閲覧サービス

年間
購読

“ヨ”メディカ付プラン

院内勉強会資料の作成に必要な情報も、キーワードや著者名などで検索できる！

詳しくはこちら！

一冊単位で閲覧できる！
*一冊単位の閲覧は2017年以降の発売号のみ

知りたい情報を一発検索！
関連記事だけピックアップ！

最新専門誌発売月の
2か月後から閲覧可能！
*増刊・別冊は含まれません。

動画・ツール閲覧もOK



*1 契約につき、お申し込み冊数分のライセンスを発行いたします。*年間購読ヨメディカ付プランのご契約期間中、ご契約誌のみ閲覧できます。閲覧可能期間は、年間購読契約終了月の末日までとなります。*ストリーミング形式での閲覧となります。PDFでのダウンロードはできません。

ご注文書 ●全国の看護書・医学書取扱書店、または小社へ直接ご注文ください。

【小社へのお支払い方法】

・年間購読料金は、下記いずれのお支払い方法でも一括前払い制となります。

①代金前払い…受注後、振込用紙をお送りします。ご入金確認後、商品発送手配をいたします。

②クレジットカード…メディカ出版オンラインストアからのご注文のみご利用いただけます。

*ご注文につきましては、右記の「個人情報の取り扱い」に同意の上、ご注文ください。

*発送手数料 ご注文金額が3,000円未満…400円+税(全国一律)

ご注文金額が3,000円以上…小社負担



オンラインストア

〈個人情報の取り扱いについて〉

- ご記入いただきました個人情報は、当社プライバシーポリシー (store.medica.co.jp/privacy.html) に基づき、安全かつ厳密に管理いたします。
- 個人情報は次の目的のみで利用します。①当社の商品情報の提供 ②商品企画のための調査 ③雑誌・書籍制作のための取材や原稿執筆のお願い ③.個人情報は、本人の同意なしに第三者への開示・提供・預託することはありません。
- お客様の個人情報を開示・訂正・利用停止・削除を希望される場合は、下記へお申し出ください。

株式会社メディカ出版 管理部 個人情報保護管理者 藤田 英樹

電話 06-6398-5008 Eメール privacy@medica.co.jp

お申し込み日 年 月 日

2025年 年間購読 お申し込み書 ◆ご希望冊数をご記入のうえ、申込、購読期間、ヨメディカ付プランについては、ご希望の欄に☑をおつけください。

誌名	申込	購読期間	部数	ヨメディカ付プラン
ナーシングビジネス	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	2025年 <input type="checkbox"/> 1号~12号 <input type="checkbox"/> 4号~3号 <small>*上記購読期間以外で年間購読をご希望の場合はお問い合わせください。</small>	各()冊	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
単品でご注文の方は、こちらに 書名・冊数をご記入ください		()冊		()冊

◆太枠内はすべてご記入ください。お名前フリガナとお届け先TEL、ご住所のマンション・アパート名、部屋番号をお忘れなくご記入ください。

フリガナ	TEL	() -
お名前	勤務先名	
ご住所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 どちらかに☑をつけてください	所属・役職	
	E-mail	

取扱書店

年間購読誌用途

個人用

施設用

備考欄 *取扱書店への連絡事項など

ご注文・
お問い合わせ

MC 株式会社 **メディカ出版** お客様センター

〒532-8588 大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル16F

☎ 0120-276-115 [受付時間] 平日9~17時

FAX 06-6398-5081 ▲FAX番号のおかけ間違いにご注意ください

●オンラインストア: <https://store.medica.co.jp/>